

行楽の秋イベント開催

青年部・女性部・フレッシュミズ部会

思わぬ下げ幅に危機感募る

9月期せり市

うまい新米をお届けします

JAごとう精米施設



JA
ごとう

栽培技術の向上へ取組み必須

ほめられかぼちゃ部会出荷反省会

五島茶守る取組みを

ごとう農協茶生産部会総会

出荷規格を最終確認

JAごとう契約甘藷部会

会員も徐々に増加

JAごとう青色申告会役員総会

2023

10

OCTOBER
JAごとう
No.212

9月期せり市 入場を控え子牛を繋ぐ生産者（五島家畜市場）

行楽の秋に各部会がイベントを開催

秋は「スポーツの秋」、「食欲の秋」、「読書の秋」などと呼ばれ、様々なイベントに適した季節。JAごとうでも食農教育や組合員の健康促進といった観点から、青年・女性・フレッシュミズ部会がそれぞれイベントを開催・参加しました。青年部は長崎県青年協議会で青年の主張と交流ソフトボール大会、女性部はレクリエーション大会、そしてフレッシュミズ部会は親子の集いとして皆でバーベキューを行いました。

青年部の活動

9月22日に諫早市内のホテルでJA長崎県青年大会が開催されました。



西部・三井楽支部の神村隼人さんが青年の主張を行いました。



共に汗を流し親睦を深める部員たち



見事な秋晴れの中、各JAの青年部員たちが交流を図る目的で親睦ソフトボール大会が開催されました。

女性部の活動



9月24日女性部のレクリエーション大会を開催しました。



「ピンを倒して繋げ」
ボーリングの要領でピンを倒す順番をチームで競います。



「うちわで風船運び」
うちわに乗せた風船をバトンにリレーで競います。



抽選会で炊飯器を獲得し笑顔の女性部員



「輪投げで商品ゲット」
並べられた商品を輪投げで狙います。



風船の割れる音に会場も大盛り上がり

フレッシュミズ部会の活動



焼きたての肉にかぶりつく児童ら



暑さを堪え子ども達のために肉を焼く部員たち



焼き上がりが待ち遠しいようすの子どもたち。
焼き網を見つめ、待っている間も楽しそうです。



9月2日に親子の集いとして直売所裏でバーベキューを行いました。



入場を前にして子牛の手入れをする生産者。



真剣な表情で子牛を見定める購買者の方々。



思わぬ下げ幅に危機感募る

前回は更に18.8%下回る

9月期せり市

令和5年9月期のせり市が9月13日と14日、五島家畜市場で開かれ、生産者181戸から66頭（子牛621頭、成牛45頭）が上場されました。

二日間の子牛の平均価格は、前回比18.8%安の40万7,096円となり、前回7月の50万1,572円から更に9万4,476円下げる結果になりました。

五島家畜市場における子牛の平均価格は、令和3年3月の82万円をピークに令和4年1月までは70万円台を維持していましたが、翌2月、ロシアによるウクライナ侵攻が始まると価格は徐々に下がりはじめ、今では、ピーク時との価格差は41万円となり、50%を超える下げ幅となっています。

子牛価格が短期間で大幅に下落し、生産者の経営環境が急速に悪化。生産者の意欲低下により肉用牛生産基盤の弱体化が懸念される状況にあるとして、国では今年1月、『和子牛臨時経営支援事業』を發動しました。

これは、黒毛和種の四半期ごとのブロック別（北海道、

東北、本州関東以西・四国、九州・沖縄の4ブロック）平均価格が発動基準価格（60万円）を下回った場合に、その差額の4分の3を支援するもので、8月には支援の拡充により、四半期ごとの全国平均売買価格が保証基準価格（55・6万円）を下回り、肉用子牛生産者補給金が発動した場合、四半期ごとのブロック別平均価格が全国平均売買価格を下回った部分についても、その差額の4分の3を支





クラスター事業で建てられた畜舎で飼育される牛。
生産者は適正価格による配合飼料の安定供給を切に願っています。

援することになっていきます。
これを受けて、JAごとうでも、各種対策資金を無利息で準備。価格が高騰した資材等の購入に必要な運転資金として利用でき、申込みから借入までのつなぎ資金にも柔軟に対応しています。
JAごとう畜産部会の川崎善一部会長は「正直、これほどまでに値下がりするとは思わなかった」と危機感を見せた後「生産者個人で対応可能な範囲を超えたと感じるが、国や県の支援事業やJAの対策資金等を活用しながら、我々に出ることは市場に左右されない上質な牛の生産に努める事だ」と話しました。

令和5年9月期せり市成績表（子牛）

※税込、落札価格のみ税抜

性別	売却	落札価格	最高価格	平均価格	kg単価	平均体重	前回比
メス	275頭	83,572,000円	1,125,300円	334,288円	1,248円	268kg	79.0%
去勢	342頭	144,772,000円	914,000円	465,641円	1,632円	285kg	82.9%
合計	617頭	228,344,000円	1,125,300円	407,096円	1,467円	278kg	81.2%



施設の精米プラント。美味しい白米が作られています。

うまい新米を お届けします

早期米の精米が本格化

JAごとう精米施設



今年、JAごとう管内で収穫された早期米が新米として販売が始まっています。品種は、コシヒカリとなつほのか。商品名はそれぞれ『島ぞだち』と『なつほのか』で、産直市場五島がうまいと各Aコープ店でお求めいただけます。
これらの米は、岐宿ライスセンターの敷地内にある施設で精米されています。
施設には、機械化されたプラントが整備されており、玄米の投入から石抜き、糠を除去する精白、選別、計量の工程が一貫して行われます。
取材に訪れた日は、注文を受けた業者向けと、店頭販売用の精米が行われていて、半透明の輝く白米が袋に詰められていました。
作業に携わる担当職員は

「稼働中は、機械の不具合に備えて現場から目が離せません」と真剣な面持ちで監視していました。
隣接する低温貯蔵庫には、品質検査を終えた玄米が温度15度以下、湿度70%を保ち大切に保管されています。
低温貯蔵庫から出された玄米は、ほぼ一日かけて常温に戻す必要があるため、すぐに精米することができないそう
で、「低温のまま精米すると、プラント内で結露が発生して米が詰まり故障の原因になりますから、急な注文が入った時にも対応できるように準備が必要です」と話しました。
こうして農家の皆さんが丹精込めて育てた地元の新米が皆様のもとへ届けられています。是非ご賞味ください。

栽培技術の向上へ 取組み必須

ほめられかぼちゃ部会
出荷反省会



ほめられかぼちゃ部会は8月29日、出荷反省会を開き、令和5年産かぼちゃの生産、販売実績について協議しました。

反省会には、部会員をはじめ取引先のMVM商事(株)、全農、離島振興地方創生協会、五島振興局から参加。

今年は、部会員20名が栽培面積10畝で、2月中旬から4月上旬にかけて定植しました。

その後、3月の霜害や4

MVM商事(株)より品質、収量、販売額で3名の方が表彰されました。



ほめられ率1位 増田博昭さん



10a当り収量1位 山口廣行さん



販売金額1位 藤田三利さん

月の風害で生育が遅れ、5月の降雨と日照不足で着果不良と草勢の低下が見られ収量に大きく影響。10^ア当たり1443kgと昨年の2179kgから3割強の減収となりました。

MVM独自に品質を格付けする「ほめられ率」も昨年の81%から65・1%に留まりました。

大谷豊部会長は、「今年は例年にならない猛暑で、栽培管理が大変だった。ほめられ率も昨年の全国1位から今年は8位。10^ア当たりの収量は1位となったが、実際の収量は昨年より落ちている。栽培面積も目標をクリアできなかったが、栽培技術の面では遅れを取っている状況。ほめられ率80%を達成した方が5名いるが、率の悪い方もいて技術のバラつきも見られた。

今後は、栽培技術の向上のため、部会員同士でグループを作り、それぞれ定期的に研修会を開く事も必要と考える。

令和6年産は、面積を15畝に増やし、最終的に20畝を目指しているが、面積だけを増やしても品質が伴わないと意味がない。とはいえ、面積拡大に向けた推進方策も考える必要がある」と次年度に向けた課題への取り組みについて話しました。

五島茶守る 取組みを

ごとう農協茶生産部会総会



ごとう農協茶生産部会は、9月11日総会を開き、令和4年度の集荷・加工と販売実績及び部会活動等について協議しました。

令和4年産のお茶は、2月以降、平年並みの気温で推移したこともあり、4月12日の初摘みから収穫となりました。

霜の被害も少なく、生育は順調で、品質は茶葉の繊維が柔らかく評価が高かったものの2番茶以降、摘み遅れなどが影響して単価が下



五島茶の存続に向けて協議されました。

がりました。

J Aごとう製茶工場における集荷量は97・6^ト、荒茶加工で21・5^ト。加工茶の販売量は、20・3^トで1kg当りの平均価格も1335円となり、価格ともに昨年並みでした。

これまで販売促進に向けて長崎県庁で知事へ新茶を贈呈、県内各地でイベントを開くなど五島茶のPRに努めてきた部会では、今年の一歩茶の収穫を最後に3名の会員が廃作することになり、それに伴い面積も24・9^畝から18・6^畝に減少します。

今後、五島をお茶の産地として維持するための取組みとして部会では、現在の農薬や化学肥料を使用する慣行栽培から環境への負荷を低減し、歩留まりや価格も安定する有機栽培への一部移行で産地の維持を図ることとしました。

一方で、現行の慣行栽培からの移行期間とされる3年間の販売方法や肥料、農薬の制限などで生産者にかかる除草作業の負担増加などの課題も多く、これらの改善へ向けた模索が続きます。

大谷豊部会長は「お茶を取り巻く情勢は厳しい状況が続いている。県内でも生産者が減少傾向にある中、出来る限り五島茶を守っていきたい」と話しました。

出荷規格を

最終確認

J A ごとう契約甘藷部会

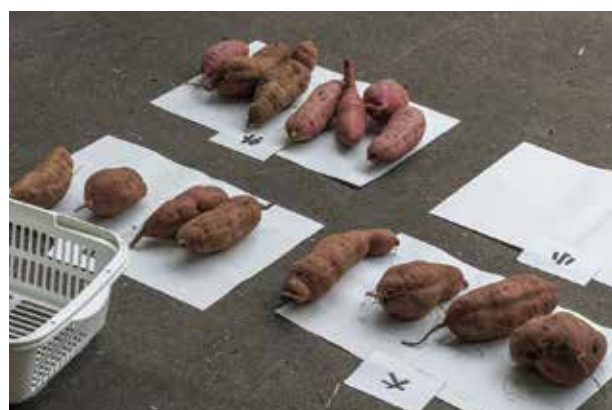
産地化を目指すJ A ごとう契約甘藷部会は、収穫期を迎えた9月14日、先月に続き2度目の目揃い会を開き、芋の出荷規格について最終確認を行いました。

目揃い会は当初、芋の圃場で行う予定でしたが、雨天のため崎山支店の集荷場に変更。部会員が持ち寄った芋の前に（株）福岡ソノリクの担当者から重量や形状、見た目による選別方法が説明されました。

重量は60gから800gを基本と



出荷規格の最終確認を行った目揃い会



部会員が持ち寄った甘藷を分類して出荷規格を確認しました。

して大中小の階級に分かれます。形状は、丸みを帯びた真つ直ぐなものが理想的で規格上A品、指1本が通る少々曲がりはB品、S字型に曲がったものは規格外とされました。

見た目では、皮むけに細心の注意が必要とされ、折角のA品が規格外となることで、市場価値を落としてしまいブランド化を妨げてしまいます。

部会員は、新たに作成し配布された『出荷規格表』を確認しながら真剣な表情で説明に聞き入っていました。

亀山光孝部会長は部会員に対し「この1〜2年の間に栽培技術を身に付けて、3年後には（面積が）爆発するように頑張らしましょう」と鼓舞しました。

申告会への信頼

会員も徐々に増加

J A ごとう青色申告会 役員総会

J A ごとう青色申告会は9月20日、役員総会を開き、令和4年度の事業並びに収支決算報告と5年度の事業計画、収支予算等について協議しました。本会は、農業者の納税意識の高揚と税務経理技術の向上に努めるとともに、農業経営の改善合理化に貢献する



各支部の役員が出席して開かれた青色申告会役員総会

ため、税務に係る各種研修会をはじめ、確定申告書作成の支援等を行っています。

青色申告会員数も徐々に増加しており、令和5年度には257名が登録されています。

会員からは「申告会に加入するまでは、毎年申告時期になると、役所に向くなどして書類と格闘しながら行っていました。加入してからは、安心して任せられるので、心置きなく本業に専念できます」と申告会に対する評判も良く重責を担う担当職員にとっても嬉しい評価を頂いています。

10月下旬には、本年度の確定申告支援にむけた研修会が開かれることになっており、会員に対する支援活動が本格化していきます。



昨年度行われた確定申告書作成支援の様子（崎山支店にて）



JA共済書道コンクール



力作揃いに審査難航

9月13日、JAごとう管内の小・中学生を対象に募集した「JA共済小・中学生書道コンクール」への応募作品の審査を行いました。同コンクールは、共済事業の相互扶助・思いやりの精神を、次代を担う小・中学生に伝えていくとともに、児童・生徒らの書写教育に貢献することを目的として毎年開催しています。共済部主導の元開催された同コンクールには、上・下の学校併せて39校が参加。2,152名の生徒が、2,241枚の作品を出品しました。

応募作品の素晴らしい出来に、審査員として招かれた3名の有識者らは、「甲乙つけ難く、優秀賞の選出に苦労しますね。」と嬉しい悲鳴。今回受賞した作品は、県コンクールへと駒を進め、11月に開催される全国コンクールへ向けた審査を行います。農業まつりでも掲示しますので、是非ご覧ください。

◆その挑戦が、 地域の未来だ。◆

子どもたちの挑戦を支える。

地域の未来のために、JA共済が大切にしていることです。

そのひとつが、このコンクール。

「もっと上手になりたい」「もっといい作品にしたい」という

子どもたちの挑戦と、それを支える大人たち。

みんなの思いが繋がって、地域の未来を創っていく。

たくさんの挑戦を応援したい。

それが私たちの変わらない想いです。



JA共済 全国小・中学生
書道・交通安全ポスター
コンクール

上地区麗宝展



輝く宝石にうっとり

上五島支店

JAごとうの経済部は9月9日、上五島支店の特設会場にて令和5年度上地区麗宝展を開催しました。

会場には大小様々な、素敵に輝くたくさんの宝石やバッグ、時計などがズラリ。来場した人々は美しい宝石を前に思わず顔もほころび、感嘆のため息をもらっていました。



雨も弾くピカピカの新車

本店特設会場

JAごとうの本店に特設設置された会場で、自動車展示会が開催されました。

9月16日・17日の2日間で開催された同展示会は、初日は晴れていたものの、2日目はあいにくの雨模様。しかしながら、多くのお客様に来場して頂き、盛況のうちに終えることが出来ました。



自動車ミニ展示会

令和五年度第六回理事会

令和五年九月二十六日(火)開催

次第

1 議案事項

議案 No. 1	借入金及び貸付金の審査について	※可決・承認された
議案 No. 2	信用事業の店舗機能再編にかかる今後の方向性について	※可決・承認された
議案 No. 3	取引のリスク評価書定例改正について	※可決・承認された
議案 No. 4	固定資産の処分・改修について	※可決・承認された
議案 No. 5	職員給与規程の一部変更(案)について	※可決・承認された
議案 No. 6	出資金の減口について	※可決・承認された
議案 No. 7	利益相反取引について	※可決・承認された
議案事項	その他	

2 報告事項

報告 No. 1	主な事業経過と行事予定について
報告 No. 2	主要事業8月末計画と実績について
報告 No. 3	産直市場「五島がうまい」8月末実績について
報告 No. 4	令和5年8月末食肉販売実績について
報告 No. 5	令和5年9月期五島家畜市場成績について
報告 No. 6	令和5年8月～9月県内家畜市場市況について
報告 No. 7	固定資産(岐宿給油所解体工事)の入札結果について
報告 No. 8	体制整備モニタリングの実施報告について
報告 No. 9	令和5年度第2回金融共済委員会の結果について
報告 No. 10	令和5年度経営緊急対策つなぎ資金貸付要領(案)について
報告 No. 11	令和5年度下期理事会の開催日程について
報告事項	その他

施設作業員募集

作業場所	作業期間
育苗センター	3月～11月
アスパラ選果場	3月～10月
ブロッコリー選果場	12月～5月
高菜加工施設	12月～3月
富江トマト選果場	9月～6月

詳細は本店 農産園芸部までお問い合わせください。
☎0959-72-6214

WEB年金相談会のお知らせ

年金についてのお困りごとを
社会保険労務士へ相談してみませんか?
開催日 毎月第2水曜日(祝日の際は翌営業日)
開催時間 1)09:00～09:50 2)09:50～10:40
3)10:40～11:30 4)11:30～12:20

詳細は本店金融部までお問合せ下さい
☎0959-72-6212



JA ごとう葬祭

【本店】
〒853-0041 長崎県五島市籠淵町 2450
電話 0959(72)8211 FAX 0959(74)5266

【上五島支店】
〒857-4404 長崎県南松浦郡新上五島町青方郷 355-7
電話 0959(52)2417 FAX 0959(43)1955



産直市場 五島がうまい

住所: 〒853-0041 五島市籠淵町2450番地 1
電話: 0959-88-9933 FAX: 0959-88-9922
営業時間: 9時～19時 (7月～8月)
9時～18時30分 (上記以外の月)

※農家レストランは10時30分～14時 (予約については別途)
※土日限定バイキング 11時～14時
料金 大人: 1,500円 子ども: 700円 (小学生以下)
休業日: 棚卸日 (9/末、3/末) 年始 (1/1・2・3)
水曜日 (農家レストランのみ)

編集後記

広報の担当になってそろそろ2年が経とうとしています。仕事としてやるからには！とカメラの事を色々勉強し、2年前よりは随分マシな写真が撮れるようになってきたと思っています。以前の担当が撮った写真がJA関連団体の全国賞を受賞しており、その題材となったイベントがこの後記を書いている2日後に開催されます。11月号の広報誌に掲載予定のイベントとなりますが、受賞した写真に負けないよう、今まで培った技術を駆使して撮影をしてこようと思います。11月号のどの記事か、是非楽しみにして頂ければと思います。
(長瀧 俊一)



●JA ごとう No.212 ●発行/ごとう農業協同組合 編集/総務部企画管理課 〒853-0041 五島市籠淵町2450番地1 ☎0959-72-6211
●http://www.ja-goto.or.jp ●印刷/(株)昭和堂

※本書の無断転写、複製、複写を一切禁じます。